

言葉の土表 識者に聞く

末期だった 酒田の16橋 つくばから通って架け替え

土木研究所・橋梁研究室の研究員を9年、国土交通省道路局の国道第2課長補佐7年を経て、1989年から東北地方整備局の酒田工務事務所長を2年間務めました。

西川 酒田でPC橋の塩害に出会いました。管理橋のうち16橋が大変な状況で、末期です。どう計算しても、これまでに落ちなかったことが説明できないほど重症の橋もありました。

塩害の存在は既に行われていたのですか。西川 いや、ほとんど知られていませんでした。コンクリート橋はメンテナンスフリー、鋼橋のようにペンを塗らなくても永久に持つ…そんな時代です。

そんな感じだったので、私が行った時は架設から25年ぐらいの橋が多く、今の目で見れば手遅れ、どうしようもない。誰も突き止めていませんでした。どれくらい危険かも分からず、はがれた場所をなんとなく補修する対症療法にやまっていたのです。

私も、毎年通って指導を続けました。悪い順に架け替えをして、全部で15橋、10数年かかりました。なんかが無事に架け替えることができた、という満足感もありません(笑)。

西川 私が酒田にいた間に対策の基本的な方向は決めなければならなかったのですが、結局、もうダメだから架け替えしようかと判断しました。

電気防食による延命の効果があった一橋を除いて、結果的に助けられなかったことは無念です。メンテナンスフリーは、塩害の怖さと厳しさを知らずにはなかったのです。

大塚会長は、同会が主宰している「構造物の補修・補強技術士」資格が国土交通省の民間技術者資格に登録されたこと報告した。来年の試験は、6月14日。従来の東京、大阪、福岡に加えて名古屋でも

メンテナンスフリーはウソ 塩害の怖さ知る

土木研究所理事長

西川和廣氏 ④



土木研究所の理事長室にて

橋の寿命は何年？

「50年」は会計上の耐用年数

西川 これから日本の橋が大変なことになると思えば、塩害ですね。早期発見、早期治療、手遅れなら早期の架け替えが必要だと思います。

西川 唯一、根拠としては、減価償却の話です。旧大蔵省の省令に償却資産の耐用年数があって、鉄道橋はコンクリート造50年、鉄骨造40年とありました。

西川 私は2002年の論文で「橋の寿命は管理者の意志で決まる」という概念です。

西川 私は2002年の論文で「橋の寿命は管理者の意志で決まる」という概念です。

「管理者の意志で決まる」

西川 この維持管理を考えると、寿命と切り離して論じるのには意味がありません。寿命から入りましょう。

西川 唯一、根拠としては、減価償却の話です。旧大蔵省の省令に償却資産の耐用年数があって、鉄道橋はコンクリート造50年、鉄骨造40年とありました。

西川 私は2002年の論文で「橋の寿命は管理者の意志で決まる」という概念です。

西川 私は2002年の論文で「橋の寿命は管理者の意志で決まる」という概念です。

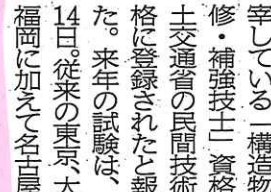


大塚会長

リペア会「資格」 国交省に登録

行われる。また、「現在6支部体制だが、今後は単体で拡大していく」と抱負を述べた。リペア会は、超微粒子・シリカ・シリコンのESCONを紹介。超微粒子・シリカ・シリコンを配合することで、プレキャスト、省力化、軽量化に役立つとした。

トクヤマエムテックの片山純一氏は、内部挿入型犠牲陽極材のパッチカードを紹介。塩害対策が安価にできる。KMCの藤取昌巳氏が、切削機を用いたトンネル内装タイル撤去工法について紹介。NEECO九州、長崎道のトンネルの事例が発表された。



大塚会長



西川理事長

西川 私は2002年の論文で「橋の寿命は管理者の意志で決まる」という概念です。



西川理事長

西川 私は2002年の論文で「橋の寿命は管理者の意志で決まる」という概念です。



西川理事長

西川 私は2002年の論文で「橋の寿命は管理者の意志で決まる」という概念です。



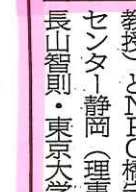
西川理事長

西川 私は2002年の論文で「橋の寿命は管理者の意志で決まる」という概念です。



西川理事長

西川 私は2002年の論文で「橋の寿命は管理者の意志で決まる」という概念です。



西川理事長

西川 私は2002年の論文で「橋の寿命は管理者の意志で決まる」という概念です。